





## ■地域公共交通の将来像と目標

本市では、地域間の連携を維持・強化することで、市民生活を支え、活力を生み出す集約型都市構造を目指すものとします。目指す地域公共交通の将来像の実現に向けて、達成すべき目標を設定し、それぞれの目標に対する取組施策の検討・実施を進めていきます。

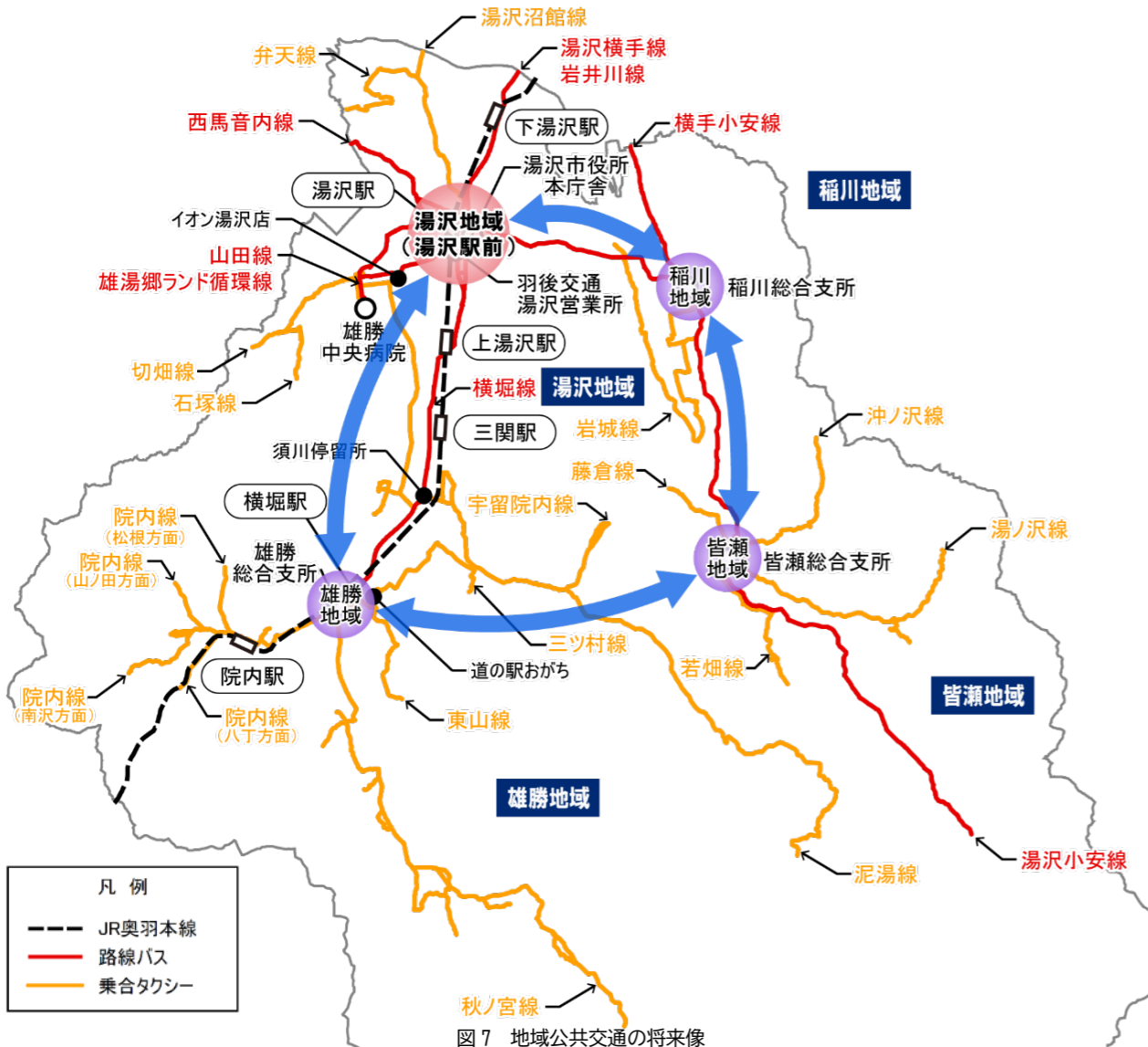


図7 地域公共交通の将来像

表1 地域公共交通の役割

連携軸	地域公共交通	路線名
広域連携軸 県をまたぐ移動や圏域間の移動を支え、広域的な交流や連携を促進する公共交通ネットワーク	鉄道	JR 奥羽線
	高速バス	高速秋田線・グリーンライナー号
地域連携軸 市外への移動を支え、広域的な交流や連携を促進する公共交通ネットワーク	路線バス (広域路線)	湯沢横手線・岩井川線・西馬音内線 ・横手小安線
	路線バス (市内路線)	湯沢小安線・横堀線・山田線 ・雄湯郷ランド循環線(右回り、左回り※)
地域内ネットワーク 地域内の移動を支え、日常生活の足となる役割を担う公共交通ネットワーク	コミュニティバス	大門線
	タクシー	市内全域
	乗合タクシー	湯沢沼館線・弁天線・切畑線・石塚線・沼湯線 ・岩城線・三ツ村線・東山線・秋ノ宮線・院内線 ・藤倉線・湯ノ沢線・若畑線・沖ノ沢線

※は地域内フィーダ系統補助金活用系統

## 基本方針1 まちづくりと連携した日常の生活を支える地域公共交通

目標1 拠点、ネットワークの再編	取組施策1 交通拠点の整備	(1) 交通拠点の整備 ・基本機能として既施設の一部に机や椅子を整備 ・サービス機能としてデジタルサイネージを設置
	取組施策2 拠点間運行体制の整備	(1) 公共交通空白地域の移動手段の確保 (2) 市内の交通リソース維持のための支援 (3) 地域内移動を促す新たな手段の検討 ・定期乗車券や定額乗り放題など 【検討例】公共交通の乗継に対する利用者の不満が多い高松地域・秋ノ宮地域を対象に、中心市街地や地域の中核病院への直通便を検討
目標2 移動を契機としたにぎわいの創出	取組施策3 地域のにぎわい創出	(1) 拠点施設におけるイベント開催 ・臨時キッチンカーや移動販売、朝市など (2) 拠点周辺スペースの有効活用 ・地域住民の活動の場としての有効活用策について検討
	取組施策4 運行情報に関するデータの整理	(1) 運行情報のオープンデータ化 ・停留所の座標情報や時刻表の運行情報をオープンデータ化 (2) リアルタイム運行状況データの収集 ・運行車両へのGPS機器の設置 (3) データの各種サービスへの反映・更新 ・オープンデータや運行情報データを各サービスに反映・更新
目標3 運行状況の見える化促進	取組施策5 運行情報の提供	(1) 拠点施設への大型表示装置の設置 (2) 新たな情報提供システムの導入 ・スマホやPC等で運行情報が確認できるシステムの導入・運用

## 基本方針2 誰でも利用しやすく分かりやすい地域公共交通

目標4 移動に不安のある方への配慮	取組施策6 移動に不安のある方への支援	(1) 地域内の輸送資源の把握 ・地域内の民間事業者が所有する輸送資源を把握 (2) 輸送資源の新たな交通サービスとしての活用検討
	取組施策7 電子決済の導入支援	(1) 公共交通機関へのキャッシュレス機能の導入 ・市内事業者との連携によるWEBアプリとQRコードを活用したキャッシュレス決済の導入
目標5 利用者の利便性向上	取組施策8 多言語化の取組支援	(1) 多言語表記の案内板の設置 ・バス・タクシー乗り場に数か国語で表示した案内板を設置 (2) 翻訳アプリの導入・運用

## 基本方針3 多様な主体が連携し持続可能な地域公共交通

目標6 担い手不足解消や啓発活動支援	取組施策9 乗り方教室、安全教室の開催支援	(1) 交通事業者による啓発活動の支援 ・乗り方教室や安全教室を開催している交通事業者への支援
	取組施策10 2種免許取得支援	(1) 湯沢市ふるさと企業振興補助金の活用促進 ・湯沢市ふるさと企業振興補助金の紹介と活用を促進 (2) 資格取得支援事業による運転免許取得の支援
目標7 多様な主体の連携	取組施策11 貨客混載交通、混乗交通	(1) 貨客混載・混乗交通のあり方・可能性の検討 ・本市における貨客混載・混乗交通導入の可能性を検討
	取組施策12 環境に優しい公用車カーシェア	(1) 公用車のカーシェアリングの導入 ・公用車を利用しない土日祝日等に市民や観光客等が利用できるようカーシェアリングを導入 (2) 低公害車の公用車導入 ・環境に優しい車両(ハイブリッド車等)を公用車として導入
目標8 新たな交通サービスの提供	取組施策13 地域主体の交通サービス	(1) 地域主体の交通サービスの導入検討 ・自家用有償旅客運送制度の活用など (2) 新たな交通サービスの可能性の検討 ・地域運行型ライドシェアやMaasの取組など